

図書館だより No.1



入学・進級おめでとうございます

新1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。2、3年生の皆さん、ご進級おめでとうございます。学校司書の小島妙子です。1年間よろしくお願いします。

今年度も、引き続き新型コロナウイルス感染症の対策を行いながらの利用となります。皆さんの協力が必要です。よろしくお願いします。

【利用時の約束】

- ◆ 入口での手指の消毒
- ◆ マスクの着用
- ◆ 会話は最小限に
- ◆ 利用後は手洗いを



学校図書館 利用案内

貸出冊数…	ひとり3冊まで
	夏・冬休みは4冊まで
貸出期間…	2週間
開館時間…	9:30 ~ 16:30
利用時間…	10分間休み・昼休み 放課後
予約 …	ひとり1冊まで

新年度におすすめの図書

新しいクラス、友達、先生。はじめての委員会活動や部活動、先輩、後輩…。新たな出会いへの緊張や不安を和らげてくれる本をここでは紹介します。(おたよりで紹介した本は、エレベーター横の書架や館内に並んでいます。)

各学年のオープンスペースにも、国語の教科書で紹介された本などを中心に並べています。休み時間などにぜひ活用してください。

ドキドキの新生活



『なりたて中学生 初級編』
ひこ・田中著 講談社
中学入学の直前、ひとつ隣の学区に引っ越したばかりに、まわりに知ってる友達は何も！
ヘタレのテツオは、ヘタレなりに立ち位置を探り始めた…。

『はみだしインディアン』のホントに ホントの物語』



シャーマン・アレクシー著 小学館
インディアンとして保留地で生まれ育ったジュニア。ここにいたら未来はない！ジュニアはそこを出て、白人のエリート学校に通うことにしたが…。

『Q→A』

草野たき著 講談社
真面目に答える人なんていない？ でも…。
中学3年生になってクラスで配られたアンケートが引きだす、ややこしくて、ばからしくて、せつない本音たち。



『パンツ・プロジェクト』
キャット・クラーク著 あすなる書房
「なんで女子だけがスカートをはかなくちゃいけないの？」中学に入学したりブは学校のルールを変えるために制服改革運動を始める。



友だちって？

『ワンダー』

R.J.パラシオ著 ほるぷ出版
生まれつき顔に障害があるオーガストは10歳で学校に通うことになった。級友たちは悲鳴をあげ避けるばかり。そんななか、声をかける子が現れて…？



『きみの友だち』

重松 清著 新潮社
友だち？ 他人だよ、そんなの。でも特別な他人、大切な他人。嬉しいこと、つらいことがいっぱいあったから、「友だち」の意味がわかったんだ。

あわせて読みたい

『友だち幻想 人と人の〈つながり〉を考える』

菅野 仁著 筑摩書房

身近な人たちとの親しいつながりが大事だと思っていて、そのことに神経がすり減るぐらい気を遣っている。なのにうまくいかないのはなぜなの？ 読むと気持ちが楽になる。



部活動との出会い

『ぼくは上手にしゃべれない』

椎野直哉著 ポプラ社

吃音の悩みをかかえ、中学に入学した悠太。入学式の日には、当然自己紹介があるっていうのはわかっていたが…。吃音に苦しむ少年は、「しゃべれるようになる」ために、放送部へ行ってみることに。



『屋上のウインドノーツ』

額賀 滯著 文藝春秋

友達がひとりもない県立高校へ入学した、引っ込み思案の少女・給前志音は、ワケありの部長・日向寺大志に誘われ、吹奏楽部に入部する。爽やかな風を感じる熱血部活小説！



『ホケツ！』

小野寺史宜著 祥伝社

高3の大地は、母親を亡くしてから、一緒に暮らす絹子伯母さんに、サッカー部のレギュラーで活躍しているとうそをついてしまうのだが…。



このままじゃ、終われない

『リボン』

草野たき著 ポプラ社

卓球部女子には、卒業式に先輩から制服のリボンを貰う伝統があった。人気があるのは、卓球のうまさよりも、断然彼氏持ちの先輩。自分もそんな3年生になるつもりでいた2年生の終わりに…。



『リリース』

草野たき著 ポプラ社

「医者になれ」という父の遺言をまもってきた明良。周囲の期待に応えるため、ひたすら内心を隠して生きてきた。そんな明良の前にひとりの転校生が現れて…。

★荒川区推薦図書「本との出会い」掲載



気になる本はありましたか？

他にも、色々な本を学校図書館

では用意しています。

貸出中の場合は、ひとり1冊

まで予約もできます。